

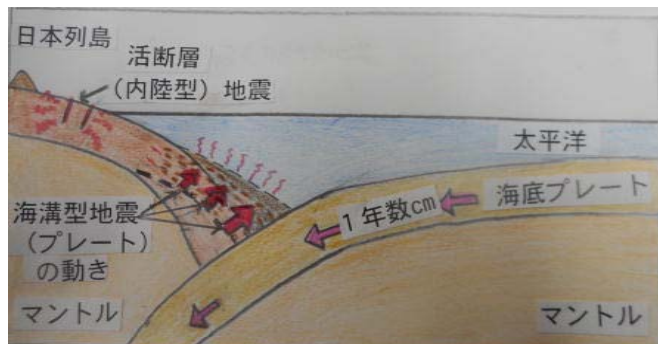
# 大和郡山 防災ニュース 31.3月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、動きや情報を提供します。

## 大地震は必ず来るの？

**残念ながらいつか必ず起こります。だから準備を！**

奈良は地震が無いから都になったんだ！海がないから津波もないし、防災防災と騒ぐ必要はない。と言われる方、今でも多いですね。近畿地方に影響が予測される大地震といえば、南海トラフ地震。地球の表面を卵の



殻のように取り巻く地殻の上には私たちは暮らしていますが、この地殻は1枚の板ではなく、何枚かのプレートに分かれていて、日本列島付近の海でぶつかり合っており、このプレートがずれるとき地震は発生し、過去の記録や調査から約100～200年おきに発生しているようです。さらにこのプレートのぶつかり合いの圧力で陸地側に亀裂が生じて起こるのが活断層型の地震です。郡山で、165年前、震度6を記録したという伊賀上野地震はこのタイプの地震で、伊賀上野から木津川沿いに伸びる活断層が動いて発生しました。

**今後30年間の発生確率は70～80%という南海トラフ地震、注意しなければならないのは？**



気象庁は、今後30年間の南海トラフ地震の発生確率は、70～80%と発表しています。注意しなければならないのは、南海トラフ地震もそうですが、活断層型の地震も南海トラフの圧力が高まる時期によく発生することなのです。奈良県においては、奈良盆地東縁断層帯（奈良東向商店街の東側の崖もこの断層の一部です。）とあって、京都府城陽市の南部から奈良県桜井市までほぼ南北に延びる長さ約35kmの活断層帯が動くと、マグニチュード7.4程度の地震が発生し、郡山市の東部で

震度7の揺れになるようです。この断層は、概ね5千年間隔で活動すると言われていたますが、今後30年の間に発生する可能性は、国内の主な活断層の中では比較的高いと言われており、次の南海トラフ地震発生前には注意が必要な断層です。

### **油断は禁物、日本で地震がない地域はありません。**

阪神大震災が起こるまでは、地震は関東で起こるもの、関西では起こらないと信じていた人が多いようです。また、熊本の人も地震が起こるとは思っていなかったようです。しかし関西でも、165年前の伊賀上野地震や400年前の慶長伏見地震など大きな地震は起こっています。阪神大震災以来地震の活動期に入ったとも言われており、人の一生よりはるかに長い周期で起きる災害に十分な警戒が必要です。

### **災害時避難行動要支援者名簿の活用に関心を寄せていただいています！**

去る2月に、災害時避難行動要支援者名簿の活用をお願いする文書を210の自主防災組織に送付したところ、早速に多くのお問い合わせがあり、この1ヶ月余で16の防災組織が名簿受取の協定を結んでいただき、現在36の組織が活用していただいています。これからも、自治会、自主防災組織、民生委員さん、消防団など地域が連携して、いざという時に対処していく体制づくりに、ぜひご協力をお願いします。



### **編集後記**

今年度は、各地区の自治連合会の総会などで、自主防災組織の結成や防災活動の活性化のお願いのお話をさせていただきました。中にはそのまま懇親会にも参加させていただき、防災について、熱い議論になったこともありました。地域の皆様には会議の席にご無理申し上げ貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。

**大和郡山防災ニュースは、市のHPでもご覧になれます**

大和郡山防災ニュース	検索
------------	----

↗

**消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください！**

大和郡山市消防団へようこそ	検索
---------------	----

↗

**発行人 市役所市民安全課**